

## 日銀短観

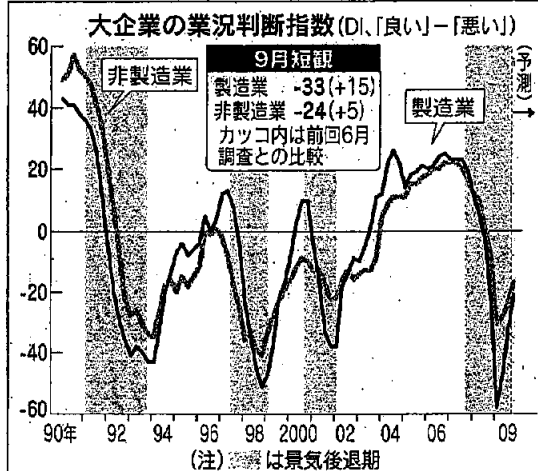
## 景況感 2期連続改善

## 9月大企業製造業15ポイント上昇

日銀が1日発表した9月の企業短期経済観測調査(短観)は、企業の景況感を示す業況判断指数(DI)が大企業製造業でマイナス33となり、6月の前回調査(マイナス48)から15ポイント改善した。改善は6月に続き2期連続。新興国など海外経済の回復を背景に輸出や生産の持ち直しが鮮明になっており、3カ月先の見通しでは一段の改善を見込む。ただ雇用や設備の過剰感は解消されておらず、2009年度の設備投資計画は過去最大の落ち込みとなる前年度比25%減に下方修正された。(関連記事3面に)

## 輸出・生産持ち直し 設備投資は下方修正

業況判断DIは、景況感の「良い」と答えた企業割合から「悪い」と答えた割合を引いた値。大企業製造業のDIは過去最悪だった今年3月(マイナス58)を底に改善が続くが、依然マイナ



大企業非製造業の業況判断DIはマイナス24と、雇用・所得環境への不安があったが、前回からは5

業況判断指数(DI)の動き

|      |      | 今回<br>(前回比) | 先行き<br>(今回比) |
|------|------|-------------|--------------|
| 大企業  | 製造業  | ▲33(15)     | ▲21(12)      |
|      | 非製造業 | ▲24( 5)     | ▲17( 7)      |
| 中堅企業 | 製造業  | ▲40(15)     | ▲35( 5)      |
|      | 非製造業 | ▲30( 6)     | ▲28( 2)      |
| 中小企業 | 製造業  | ▲52( 5)     | ▲44( 8)      |
|      | 非製造業 | ▲39( 5)     | ▲40(▲1)      |
| 全規模  | 製造業  | ▲43(12)     | ▲35( 8)      |
|      | 非製造業 | ▲33( 6)     | ▲33( 0)      |

(注)先行きは3カ月先の見通し、▲はマイナス、悪化

需に比べ内需の弱さを映している。中小製造業の業況判断DIはマイナス52と、7期ぶりに改善。中小非製造業は11期ぶりに改善した。景気が持ち直しつつある足元の基調が確認でき、一方で、設備や雇用の

正しており、減少幅は過去最大となる見通しだ。雇用判断DIも7ポイントの改善にとどまっている。09年度の大企業製造業の売上高は前年度比14・3%減、経常利益は同38・9%減を見込む。今年度の想定為替レートは1ドル94円50銭。6月時点の想定レート(94円85銭)からやや円高方向に修正されたが、1ドル90円を突破した直近の円相場とは乖離(かいり)があり、輸出企業を中心に今後の収益圧迫要因になる可能性がある。